

Library Lovers キャンペーンとは?

図書館は新しい知識や感動や人との出会いの場所でもあります。このキャンペーンは、そんな出会いの場としての大学図書館をもっと身近に感じてもらうという試みです。

今年は国民読書年。秋の読書週間を「Library Lovers' Week (LLW)」として、九州地区の大学図書館が一緒になって盛り上げていきます!! LLW期間中、参加館共同で学生コンテストを行ったり、各大学でオリジナルイベントを実施します。

図書館との出会い、1冊の本との出会い。この秋、あなたに素敵な出会いが訪れますように!

LLWホームページ: <http://llw.lib.kumamoto-u.ac.jp/>
ブログ、ブクログ、twitterでも展開しています!ぜひご覧ください。

♥「オススメの1冊」学生コンテスト(募集中:10月13日まで)

あなたのイチオシ図書を紹介コメントを書こう!

コメント応募者には、Library Lovers' オリジナルグッズを差し上げます(先着80名)。

各館に設置している応募用紙に記入してカウンターへ、またはLLWホームページの投稿フォームからご応募ください。応募いただいたコメントはLLWのホームページ、参加各館で公開。あなたのコメントが、みんなと本の新しい出会いのきっかけになります!

- 募集テーマ:
- 勉強の合間に読みたい本
 - 就活に役立つ本
 - 新入生に読んでほしい本
 - ほっと癒される本
 - 無人島に1冊だけ持っていく本

♥Library Lovers' Week期間中のイベント

期間中、九大の各図書館でいろいろなイベントを開催します!みなさまぜひご参加ください!

★マークのイベントに参加すると、この期間だけのオリジナルグッズプレゼントもあります!

●きゅうとくんを探せ!図書館スタンプラリー [中央・伊都・医学・芸工・建築]★	●LLW貸出特典 ~3回借りてプチHappy~ [全館]★
●図書館職員のお仕事紹介 ~Voice~ [中央・伊都・医学]	●図書館を駆使せよ!! ~調べ物達人への道~ [中央・伊都・医学]★
●豆本作りワークショップ(要申込) [中央] 10/29(金)・11/2(火) 17:00~18:00 (各日とも) [伊都] 11/5(金) 17:00~18:00	●BOOK Lovers ~資料を長く使うために~ [中央] [展示期間] 10/1~11/30

詳細は<<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/events/llw2010.html>>をチェック!!

図書館スタッフオススメ本

<p>ほっと癒される本</p> <p>「木のいのち木のこころ ~天地・人~」(新潮文庫) 西岡常一ほか著 ISBN:9784101190310 新潮社, 2005</p> <p>「法隆寺には千三百年前の櫓があります、今でも立派に建っていますし、鉦をかけてやりますと、今でもいい香りがしますのや」法隆寺や薬師寺の修理・再建にも携わった職人が語る、木のこころ。ゆったりとした語り口。思わずほっ。 (医学図書館 下野美幸)</p>	<p>勉強の合間に読みたい本</p> <p>「影との戦い」ル=グウィン作、清水真砂子訳 ISBN:9784001106848 岩波書店, 1976</p> <p>ゲド戦記シリーズの第1作目。少年が一筋の魔法使いになるまでを描いた旅物語。シリーズを通してひとつの大きな物語になっているので、2作目以降「こわれた腕輪」、「さいはての島へ」など読み進めている楽しみがあります。(文系合同図書室 佐方小弓)</p>	<p>新入生に読んでほしい本</p> <p>「図書館に訊け!」(ちくま新書) 井上真琴著 ISBN:9784480061867 筑摩書房, 2004</p> <p>大学の図書館では、専門的な本が借りられるだけでなく、専門的なサービスも利用できますことを知っていますか?この本では、知らなくては損をする図書館活用術が惜しみなく紹介されています。読み終わると、図書館に行きたくなる、そんな本です。(中央図書館 大田海)</p>	<p>就活に役立つ本</p> <p>「夢をかかえるソウ」水野敬也著 ISBN:9784870318052 飛鳥新社, 2007</p> <p>「自分を変えることは難しい、心構え一つで夢は叶えられる・未来は変えられる」そう思えた本です。…実は自己啓発本だと知ったのは読み終わった後。軽快な内容なので、読むぞと構えず楽しく読むで勇氣をもらえる本です。(伊都図書館 日高環)</p>
--	---	---	--



インタビュー Library Loverな常連さんの図書館の使い方は?

図書館は自習に最適!

法学部2年 中嶋祥一さん

図書館(以下「図」):ずばり、図書館好きですか?

中嶋さん(以下「中」):好きですよ(笑)

図:普段どれくらい図書館を利用しますか?

中:試験期間中はほぼ毎日!普段でも、休日にも大学に来るから…週5日かな。

短い時は1時間くらいけど、長い時は一日中いることもあります。

図:それはすごいそんなに長い時間、どんなふうに使っているんですか?

中:自習やレポート執筆が主です。周りも皆勉強しているから、すぐ集中できます。家だとなかなかかどらなくて、それと、新聞を読みます。自宅で取ってないんで助かります。

あとは、特に試験期だったら専門分野の本をよく借ります。

図:最近借りた中でおすすめの本は?

中:民法の教科書。

図:図書館でお気に入りの場所はありますか?

中:リフレッシュルームです。新聞もこの部屋ですね。軽食も取れて、友達と談話もできるので、息抜きになります。自習の場所は特に決めてなくて、きゅうと commons だったり、3Fの閲覧室だったり。

図:最後にひと言お願いします。

中:図書館はいい雰囲気の中で自習・課題に集中できる、九大生にとって最高の場所です!



中央館自由閲覧室にて。友達と勉強中。

調べ物と新たな発見の場所

人文科学府修士2年 旦部啓子さん

図書館(以下「図」):普段どれくらい図書館を利用しますか?

旦部さん(以下「旦」):週に1回くらいです。だいたい2時間くらい滞ります。

図:どんな目的で?

旦:演習のための調べ物です。例えば、3世紀頃の中国の文物に記載されている植物や動物、事物を事典等で調べています。最近は、稲の栽培方法について調べました。

図:専門は中国文学とお聞きしましたが、多分野にわたる調べ物のようですね。調べるときのコツがあったら教えてください。

旦:まずはOPACでキーワード検索をして、何冊が気になる本の番号を調べて、だいたいどのあたりの書架に行ったらよいか、あたりをつけます。

図書館の本はテーマごとに並んでいますので、あとはその周辺の書架を探すだけです。キーワードでひっかからなかった意外な面白い本も見つかります。論文を探すときはやっぱりCiNii®ですね。

図:最近借りた本でオススメはありますか?

旦:たくさんありすぎて…。そうですね、隋唐小説の研究や、印刷と紙の歴史の本です。「江浙風物誌」という中華民国の旅行記も面白いですよ。

図:図書館でお気に入りの場所はありますか?

旦:たくさん本を広げられる3F開架閲覧室の大型です。書架にも近いので、すし。個別のキャレイルを使う人が多いから、大型は結構空いているんですね。

図:最後にひと言お願いします。

旦:図書館は専門以外の本もいろいろ調べて面白ところ。書架の間を徘徊しながらいろんな本を探るのは楽しいですよ!

※国立情報学研究所が提供する国内雑誌・文献データベース。
<http://ci.nii.ac.jp/>



専門の中国文学関係資料の前にて

自著紹介 本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください!



法学研究院 准教授 木村 俊道

『文明の作法-初期近代イングランドにおける政治と社交-』

木村 俊道著

ISBN: 9784623056316

ミネルヴァ書房 2010



「文明」とは何か。「近代」とは何か。本書は、初期近代イングランドを中心に、政治思想史の観点から「文明の作法」の系譜を探る。宮廷社会を舞台とし、作法書や大陸旅行によって育まれ、外交交渉などの現場で実践される礼儀と作法によって成立する、洗練された政治と社交の世界。そこには、他者との交際や共存を可能にした「型」や「わざ」、そして、「近代」の視点からは見失われた「文明」の思想史の風景が広がっている。

[中央図書館/文系合同図書室に所蔵]

名誉教授(工) 小野寺 龍太

『日露戦争時代のある医学徒の日記 小野寺直助が見た明治』

小野寺 龍太著

ISBN: 9784863290426

弦書房 2010



九大は明治36年(1903)に京都帝国大学福岡医科大学として始まった。当時の福岡は人口7万の小都市だったが白砂青松、風光明媚な土地だった。そしてこの時代はちょうど日露戦争と重なっていて、学生たちは「坂の上の雲」をめざして意気込んでいた。この日記には当時の学生たちがどんな下宿に住み、どんな風に遊び、どんな男女交際をし、どのように勉強し、友人と語ったか、その有様が赤裸々に写し出されている。なお日記の筆者直助はのちに九大医学部第三内科を創設した。

[中央図書館/伊都図書館に所蔵]

このほか、以下の教員より著作をご寄贈いただきました。

留学生センター 講師 小森 和子

『中国語を第一言語とする日本語学習者の同形語の認知処理』

小森 和子著

ISBN: 9784759917925

風間書房 2010

[中央図書館/伊都図書館に所蔵]

言語文化研究院 准教授 田中 俊也

『The genesis of preterite-present verbs: the Proto-Indo-European stative-intransitive system and morphological conflation』

Toshiya Tanaka

Department of English Faculty of Languages and Cultures Kyushu University 2009

[中央図書館/伊都図書館/芸術工学図書館に所蔵]

記録資料館 教授 三輪 宗弘

『森が茂れば鳥が飛んでくる-釜山の発展とともに-金任植回顧録』

金任植 [著]、三輪宗弘監修、権赫建、金有嘸訳

ISBN: 9784903554709

花書院 2010



本年1月23日に逝去された東義学園理事長であった金任植氏の回顧録である。東義大学校人文大学と九州大学比較社会文化研究院(同学府)や九州大学人文科学研究院(同学府、文学部)との学術交流協定締結に尽力された。金理事長は、15歳の時、釜山から連絡船に乗り下関につき、姉夫婦を頼りに上京した。東京電気通信技術専門学校を1943年3月に卒業し、上田市の山洋電気に就職した。翌年結婚され、1945年8月19日に長女が生まれ、同年幼い子供を連れて釜山に戻られた。

18年間の教職生活から政治家への転身が語られ、韓国の代議士誕生の話が生々しく赤裸々に書かれている。「第5部 明日を拓く人々」は、韓国の政治的な混迷と学生運動に翻弄される東義学園の姿が生々しく、忸怩たる思いとともに描かれている。学生運動と対峙した教育者・経営者の立場から韓国の学生運動を描いている。

韓国現代史と私立大学の経営を知る上で貴重な回顧録である。民主化運動家とは異なる視線での現代韓国論になっている。

[中央図書館/記録資料館に所蔵]

著作を図書館にご寄贈ください

図書館では、本学教員の著作を収集・提供するとともに、交流協定校であるソウル大学校と資料交換を行っています。著書を上梓された際は、ぜひ図書館へご寄贈ください。

- 図書館へ(1~2部)
- ソウル大学校との資料交換に(1部)

担当: 附属図書館資料整備室 図書受入係
Tel: 092-642-2327 Fax: 092-642-2347
E-Mail: tosho1@lib.kyushu-u.ac.jp

このほか、以下の教員より著作をご寄贈いただきました。

名誉教授(工) 秋本 福雄

『都市・地域計画論文選集』

秋本 福雄著

九州大学大学院工学研究院環境都市部門都市システム計画学研究室 2010

[中央図書館/伊都図書館に所蔵]

生物環境調節センター 教授 筑紫 二郎

『土壌の誘電特性 計測原理と応用』

マックス・A・ヒルホースト著、筑紫二郎訳

ISBN: 9784798500171

九州大学出版会 2010

[中央図書館に所蔵]

他大学図書館の方からもオススメ本を紹介していただきました

無人島に1冊だけ持っていく本

「冒険手帳:火のおこし方から、イカダの組み方まで」(知恵の森文庫)

谷口 尚規著、石川球太画
ISBN:9784334783792
光文社, 2005

情報や物があふれる、時間に追われる現代社会の生活に疲れたら、この本1冊を持って無人島へでも行ってしまいたいです。どんな状況でも負けずに生き抜く生命力にあふれた魅力的な人間に成長できるかもしれませんよ。(中央図書館 古賀京子)

勉強の合間に読みたい本

「自分の体で実験したい!命がけの科学者列伝」レスリー・デンディ、メル・ボーリング著
ISBN:9784314010214
紀伊國屋書店, 2007

人間はどれほどの熱に耐えられるのか? またどれほどの重力に耐えられるのか? 自分の身体を「実験体」として人間の限界を試した科学者たちのノン・フィクション。他にも危険なガスの吸引…病原菌に感染…。実際に命を落とした人々も出てくる。それは一見、愚かに見えるかもしれない。その向こうには科学者たちの知に対する情熱、また人がよりよく安全に幸せに生かされるような世界にするための願いがこめられているように思われる。(琉球大学スタッフ)



無人島に1冊だけ持っていく本

「虫食む人々の暮らし」野中健一著
ISBN:9784140910917
日本放送出版協会, 2007

虫食から文化を考える。虫の生態についても触れるアカデミックな一冊です。「子どもの頃は虫取りをして遊んだけれど、最近は触れなくなった」「そもそも虫は大嫌い!という方、多いと思います。折しも近年の人口増加で、昆虫食が見直されているとのこと、この機会に身近な虫のこと、考え直してみませんか。これを読んでおけば無人島でも食べ物に困らない…かも? (福岡教育大学スタッフ)

